

第151回日商簿記3級 第1問 仕訳問題類題 問題

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中から最も適切と思われるものを選ぶこと。

現	金	小	口	現	金	当	座	預	金	普	通	預	金
売	掛	金	貸	付	金	立	替	金	未	収	入	金	
建		物	備		品	車	両	運	搬	具	土		地
買	掛	金	借	入	金	未	払	金	売				上
受	取	利	息	仕	入	給		料	通	信	費		息
旅	費	交	通	費	支	払	手	数	料	消	耗	品	費
												支	払
												利	息

1. かねて販売した商品 100 個（@¥ 600）の返品を受けたため、掛代金から差し引くこととした。
2. 販売用の自動車を ¥ 1,000,000 で購入し、購入手数料 ¥ 50,000 を含む代金の全額を掛けとした。なお、当社は中古車販売業を営んでいる。
3. 土地付きの建物 ¥ 10,000,000（建物：¥ 6,000,000、土地：¥ 4,000,000）を購入し、購入手数料（それぞれの代金の 2%）を加えた総額を小切手を振り出して支払うとともに引き渡しを受けた。
4. 従業員が業務中に立て替えた今月の諸経費は以下のとおりであった。そこで、来月の給料に含めて従業員に支払うこととし、未払金として処理した。

新幹線代：¥ 20,000

ホテル代：¥ 10,000

文房具代：¥ 5,000

5. 借入金（元利均等返済）の今月返済分 ¥ 100,000 が普通預金口座から引き落とされた。なお、今月返済分のうちの利息相当額は、未返済の元本 ¥ 2,000,000 に利率年 7.3%を適用し、30 日分を日割計算（※1 年を 365 日とする）した額である。

・解答

	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	売 上	60,000	売 掛 金	60,000
2	仕 入	1,050,000	買 掛 金	1,050,000
3	建 物	6,120,000	当 座 預 金	10,200,000
	土 地	4,080,000		
4	旅 費 交 通 費	30,000	未 払 金	35,000
	消 耗 品 費	5,000		
5	借 入 金	88,000	普 通 預 金	100,000
	支 払 利 息	12,000		

・解説

1. 売上戻りに関する問題です。
商品が返品された場合は、**売上時の逆仕訳**で処理しましょう。

$$\text{① } @600 \text{ 円} \times 100 \text{ 個} = 60,000 \text{ 円}$$

☆参考：売上時の仕訳

$$\text{(借) 売掛金 } 60,000 \text{ / (貸) 売 上 } 60,000$$

★解答：返品時の仕訳

$$\text{(借) 売 上 } 60,000 \text{ / (貸) 売掛金 } 60,000$$

売上戻り・売上値引に関する問題は、第 100 回の間 1や第 114 回の間 3、第 123 回の間 5、第 144 回の間 1でも出題されています。あわせてご確認ください。

2. 仕入取引に関する問題です。
問題文に「販売用の自動車」「当社は中古車販売業を営んでいる」とあるので、自動車の購入価額を**仕入・買掛金**で処理します。うっかり車両運搬具・未払金で処理しないように気をつけましょう。

$$\text{② 購入価額} = \text{購入代価} + \text{付随費用} = 1,000,000 \text{ 円} + 50,000 \text{ 円} = 1,050,000 \text{ 円}$$

3. 固定資産の購入に関する問題です。
購入手数料などの付随費用は**取得原価に含めて処理**します。うっかり支払手数料で処理しないように気をつけましょう。

$$\text{③ 建物の取得原価} = 6,000,000 \text{ 円} + 6,000,000 \text{ 円} \times 2\% = 6,120,000 \text{ 円}$$

$$\text{④ 土地の取得原価} = 4,000,000 \text{ 円} + 4,000,000 \text{ 円} \times 2\% = 4,080,000 \text{ 円}$$

固定資産の購入に関する問題は、第 100 回の問 5や第 101 回の問 4、第 106 回の問 1、第 109 回の問 3、第 113 回の問 3、第 116 回の問 2、第 118 回の問 2、第 123 回の問 3、第 128 回の問 5、第 129 回の問 2、第 132 回の問 3、第 139 回の問 2、第 143 回の問 4、第 145 回の問 4、第 148 回の問 4、第 150 回の問 1でも出題されています。あわせてご確認ください。

4. 旅費交通費・消耗品に関する問題です。

問題文に「来月の給料に含めて従業員に支払う」とあるので、新幹線代とホテル代を**旅費交通費**、文房具代を**消耗品費**で処理するとともに、従業員に立て替えてもらった総額を**未払金**で処理します。

$$\text{旅費交通費} = 20,000 \text{ 円} + 10,000 \text{ 円} = 30,000 \text{ 円}$$

$$\text{消耗品費} = 5,000 \text{ 円}$$

旅費交通費に関する問題は、第 140 回の問 2でも出題されています。

消耗品に関する問題は、第 101 回の問 5や第 113 回の問 3、第 118 回の問 4、第 123 回の問 3、第 136 回の問 5、第 144 回の問 3でも出題されています。あわせてご確認ください。

5. 借入金の返済に関する問題です。

本問はまず、問題文に「今月返済分のうちの利息相当額は、未返済の元本 ￥ 2,000,000 に利率年 7.3%を適用し、30 日分を日割計算（※1 年を 365 日とする）した額」という指示があるので、先に利息の金額を計算しましょう。

$$\text{利息相当額} = 2,000,000 \text{ 円} \times 7.3\% \times 30 \text{ 日} / 365 \text{ 日} = 12,000 \text{ 円}$$

利息計算のベースになる借入金の金額は「今月返済分の 100,000 円」ではなく「**未返済の元本 2,000,000 円**」です。うっかり 100,000 円で計算しないように気をつけましょう。

また、問題文に「元利均等返済」とあるので、今月の返済額 100,000 円から利息相当額を差し引いて元金相当額を計算しましょう。

$$\text{元金相当額} = 100,000 \text{ 円} - 12,000 \text{ 円} = 88,000 \text{ 円}$$

- ・元利均等返済：毎回の返済額が一定となる返済方法（本問）
- ・元金均等返済：毎回の返済額のうち元金が一定となる返済方法

借入金の返済に関する問題は、第 131 回の問 3や第 140 回の問 5、第 148 回の問 5でも出題されています。あわせてご確認ください。